

イチゴ「ふくあや香」の高設栽培適応性

福島県農業試験場野菜部
平成17年度試験成績概要

1 部門名 野菜—イチゴ—栽植様式・栽植密度

分類コード 03-07-15000000

2 担当者 常盤秀夫・石郷岡典子

3 要 旨

「ふくあや香」を高設と土耕で栽培し、高設栽培への適応性を検討した(2003年:超促成栽培、2004年:促成栽培)。

(1)草勢は、促成作型ではほぼ同等であったが、超促成作型では高設栽培の方が旺盛だった。

(2)収量は、高設栽培では促成作型が700g/株、超促成作型が800g/株、土耕栽培では促成作型が600g/株、超促成作型が650g/株と高設栽培の方が多収であった。

(3)糖度は、高設栽培、土耕栽培ともに9~13度と高く、栽培法間で差は見られなかった。

以上より、「ふくあや香」の高設栽培においては、土耕栽培と比較して、生育はほぼ同等であり、収量が多く、優れていた。ただし、花房の連続性が劣り、第2花房以降の開花期が遅れた。

4 その他の資料など